

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2023年2月23日
明治大学の所属学部・研究科	国際日本学部国際日本学科(学部/ 学科/ 研究科/ 専攻等)
留学(渡航)した時の学年	4年生
帰国年月日	2023年2月16日
明治大学卒業予定年月	2023年3月
留学先大学について	
留学先国	イギリス
留学先大学	シェフィールド大学(日本語名) University of Sheffield(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/ 英語
留学期間	2022年9月~2023年2月
留学先大学で在籍した学年	所属学年なし 年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): (現地言語での名称): <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例:1 学期/4 月上旬~7 月下旬、 2 学期/9 月中旬~2 月上旬	1 学期: 2 学期:9 月下旬~2 月上旬 3 学期: 4 学期:
学生数	約 30000 人
創立年	1905

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (ポンド)	日本円	備考
授業料		円	
宿舍費	£ 3206.73	約 520000 円	1 ポンド=160 円で換算
食費	約£900	約 144000 円	
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費	50	約 8000 円	
現地交通費		円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	£30	約 4800 円	society 入会費用
被服費		30000 円	
医療費		円	
保険費		約 60000 円	形態:大学加入のもの
渡航旅費		約 320000 円	
ビザ申請費		円	6ヶ月未満のためビザなし
雑費		円	
その他	約£200	約 32000 円	give it a go trip 複数回の参加費
その他		円	
合計	約£4386.73	約 1,118,800 円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地:中部国際空港 目的地:マンチェスター-空港 経由地:羽田・ヘルシンキヴァンター-空港	
復路 出発地:ヒースロー-空港 目的地:中部国際空港 経由地:羽田空港	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社:JAL 料金:約 32 万円	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴ 合計:	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:)	
<input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:JAL)	
<input type="checkbox"/> その他()	

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前:Allen Court) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

大学のホームページから

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

私の寮は大学からの距離も近く、バストイレが自分の部屋にあたり、寮に無料で使えるジムがあったりしてとても快適でした。共有部分のキッチンもコンロが四つ、電子レンジ、湯沸かしケトル、そして収納スペースもしっかりあるので、フラットメイトと分担を決めて、とても満足度は高かったです。

大学のホームページから探したが、他のサイトから自分で探した人もおり、距離や部屋のクオリティが同じくらいで値段が安いところを見つけた人もいたので、選択肢がもう少し欲しい人は大学のホームページ以外から探すのも一つの手だと思います。

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをされましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)

なしあり(治療を受けた場所:オンライン診察を受け処方箋を出してもらって薬を受け取りました(医療通訳あり))

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なしあり(問題の内容や相談した人等:)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

たびレジを登録したことで在英日本大使館から危険情報がメールで届くようになったので、その地域周辺は近づかないようにしていました。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

現地で私は02という会社のSIM(10ポンドで7GB)を買って毎月オンラインアカウントにお金を入れておくと更新日にお金が引き落とされて容量が更新されるという仕組みのものを使っていました。ヨーロッパの他の国でも追加料金なしで自動接続して同じように使用できます。

WiFiは夜の混み合う時間帯は少し遅くなることがあったが、基本的に困ることはありませんでした。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本の口座から引き落とされるクレジットカード。海外からのオンライン決済はセキュリティロックがかかって解除するまで使えなくなることがあるので複数枚持っていくことをお勧めします。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

食糧も服も現地で買えるので特になし。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位		<input type="checkbox"/> 単位 <input checked="" type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:卒業に間に合わないため)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
English as a foreign language skills advance		外国語としての英語 C1 向け
科目設置学部・研究科	ELT	
履修期間	一学期	
単位数	20 credits	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	seminar(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 2 回	
担当教授		
授業内容	毎週オンラインで事前課題が出されて、その内容に基づいた授業が行われる。ディスカッションやリーディング、文法など幅広く扱う。	
試験・課題など	中間課題:500 words、期末課題:1500 words エッセイ、30 分間のグループディスカッション	
感想を自由記入	この授業自体が、erasmus でヨーロッパから来ている英語の先生志望の人が履修する授業のひとつなので、レベルは高めだが、少人数で必ず話したり、自分の意見を言う機会があるので、英語のスキルを上げるのにはとても適した授業だと感じた。もう一つ同じ授業で違うレベル向けのものがあるので、自分のレベルの合ったものを取るのが良いと思います。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Understanding Inequality	
科目設置学部・研究科	sociological studies
履修期間	一学期
単位数	10 credits
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が1回
担当教授	
授業内容	毎週のテーマ(gender, class など)についての講義が行われる。
試験・課題など	毎週テーマに沿ったリレーティングがあるのと、期末課題として 2000 words のエッセイ
感想を自由記入	1年生向けの授業なので、今まで同様の授業を履修したことがある人には内容は物足りないこともあるが、階級制度などは日本ではあまり扱わない視点なので比較するという点では興味深かったです。成績評価は期末課題のエッセイが100%です。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
The sociology of everyday life	
科目設置学部・研究科	sociological studies
履修期間	一学期
単位数	10 credits
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が1回
担当教授	
授業内容	社会学の基礎入門知識について
試験・課題など	テスト100%
感想を自由記入	1年生向けの授業で社会学を初めて学ぶ人でも理解しやすい授業でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
digital media and social change	
科目設置学部・研究科	sociological studies
履修期間	一学期
単位数	20 credits
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義とセミナー(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が2回
担当教授	
授業内容	SNSなどがMeToo運動やBlack Lives Matter, エジプト革命などにどのように影響を与えたのかについて文献を読み、その内容について講義で説明を聞き、セミナーでディスカッションを通して理解を深めるという授業でした。
試験・課題など	中間課題:文献分析 1000words、期末課題:エッセイ 2500words
感想を自由記入	2年生向けの授業なので1年生向けと比べて専門性が高まるが、講義とセミナーの2回を通して一つの文献を理解していくので、個人的には興味深かった授業でした。履修者は中国や韓国からの正規学生や交換留学生が半分以上を占めている印象でした。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:資格取得のために専念

2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

(例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

専門性をもつ職に就きたいと考えていたため、遠回りになったとしても自分がやりたいことをやろうと思い、この進路を選びました。途中で留学を挟む形になり不安もあったが、留学生活や様々な人と会ったことを通して自分がやりたいことなどを考え直し、そこに到達するための過程も具体的に考えるきっかけになりました。今不安でも、結果的に自分のためになるように留学生生活を計画して、楽しめれば充実した留学生活になると思います。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例:語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、
期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	語学試験の勉強（出願は前年度からの延期のため今年度はなし）
留学開始年	1月～3月	語学勉強
	4月～7月	出願手続き、滞在先確保、航空券購入
	8月～9月	留学開始
	10月～12月	中間課題 授業
留学/帰国年	1月～3月	期末課題、帰国
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

まず、この留学先としてイギリスを選んだのは、幼い頃にウェールズに住んでいたこともあり、家族と離れて1人でイギリスに住むということを通して自分の経験や記憶のアップデートを行いたかったためです。さらにそのなかからシェフィールドを選んだのは、シェフィールド大学が特に留学生の割合が高く、授業などでのディスカッションなどを通して、より多様な価値観に触れることができると考えたためです。特に日本で履修していた社会構造や福祉などに社会学が基盤となってくるものは日本で講義を受けている時よりも、多様な側面から客観的に分析し考える機会が多くありました。

留学生生活全般については、私自身はフラットメイト(寮の友達)と日帰りで旅行したり、ご飯に行くなどの時間を過ごすことが多く、話す内容も他愛もない話から、宗教や政治のことなど幅広い範囲のことを話しました。初めは日本ではあまり話さない宗教や政治のことを説明するのに時間がかかりましたが、調べては説明をする、を繰り返して、伝わるように試行錯誤していました。お互い留学生だったこともあり、その過程も楽しかったのどにかく伝えようとするのが大事だと実感しました。イギリスは風邪が日本よりも流行りやすく、私は特に何度も体調を崩し、学業やその他の活動にも影響が出たので、心配だと思える人は使い慣れた風邪薬などを持っていくことをお勧めします。

私は就活をしていないので、両立の面から経験者として何か言うことはできませんが、同じシェフィールドに来ていた2年生や3年生の人たちはオンラインのインターンや面接が普及したことにより、以前よりも柔軟に現地から就活準備をできるようになっている印象でした。語学や生活の準備は大変だと思いますがその分楽しいこともたくさん待っているの頑張りてください。